



法政大学 言語・文化センター主催

講演

英語を教授言語としてアカデミック・ コンテンツを教える授業(EMI)の勘どころ

Willingness to Communicate, 21st Century Skills, and Student
Engagement in Content-Based English Medium Instruction

本講演では、英語を教授言語としてアカデミック・コンテンツを教える授業 (EMI) がどのようなもので、国際語としての英語の観点からどのように実施できるかについて議論します。さらに、コミュニケーション意欲 (WTC) を高めうる様々なインタラクティブかつ協働的な取り組みに学生を主体的に参加させる方法を提案します。この取り組みは、いわば「21世紀型のスキル」に基づくと同時に、そのスキルをいっそう発展させるものです。「21世紀型のスキル」とは、各種の利用可能な新メディアやソーシャルメディアを活用しつつ、コミュニケーション、コラボレーション、そして新しい知識の産出に重点を置くスキルを意味します。そこで、本講演では、英語でコンテンツを教える授業で活用できる協働プロジェクトをいくつか紹介し、評価とフィードバックの諸方法を提示します。



講演者：Polina Vinogradova, Ph.D.
TESOL プログラム・ディレクター
アメリカン大学

司会：James P. Lassegard (言語・文化センター所属、経営学部教授)

4月13日(木) 15:30~17:00

法政大学 80年館7階会議室(入場無料・予約不要)



お問い合わせ：法政大学 言語・文化センター TEL 03(3264)4742